

未来研究推進センターミニシンポジウム
未来型連携研究には何が必要か

日時：平成27年1月23日（金）13：20～17：40
場所：大阪大学豊中キャンパス 文理融合棟 7階 講義室3

趣旨：

基礎工学研究科では、平成14年度より、部局独自の研究組織として、未来研究ラボシステムを設置し、異なる専門分野の融合から新しい研究の芽を涵養し未来志向型の研究や独創的な新領域の創成につながる研究を展開してきました。一方、平成21年度からは、特別経費の配分を受け、「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出事業」を推進し、大型装置を整備するとともに、大型シンクロトン放射光施設（SPring-8）関係機関や情報通信研究機構（NICT）、産業技術総合研究所（AIST）との連携を深めてまいりました。

このような状況を踏まえ、領域横断及び異分野融合による萌芽研究を推進するとともに、他機関との研究連携を積極的に行い、広範な領域において新学術領域の創生を目指すことを目的とした研究拠点として、平成26年4月、「未来研究推進センター」を設置いたしました。

このミニシンポジウムでは、新しい時代の連携には、こういった仕組みや活動が必要かを各機関からご提案をいただきながら、連携による概算要求の立案の可能性にむけたブレインストーミングを行う場としたいと思います。

プログラム

- 13:20-13:40 多田博一（基礎工）
「未来研究推進センター紹介」
- 13:40-14:20 寶迫巖（NICT）
「NICT 内部の研究連携：成功例と失敗例」
- 14:20-14:40 梶貴博（NICT）
「ナノ・バイオ融合技術による光センシングデバイス開発」
- 14:40-15:00 芦田昌明（基礎工）
「カデット・インターンシッププログラムの紹介」
- 15:00-15:15 浅野元紀（基礎工・D1、カデット履修生）
「NICT-未来 ICT でのインターンシップを終えて」
- 15:15-15:30 コーヒーブレイク
- 15:30-16:10 関山明（基礎工）
「SPring-8 との連携教育研究の実践例」
- 16:10-16:30 田中良和（SPring-8）
「共鳴軟 X 線回折における阪大との連携研究例」
- 16:30-17:30 吉田康一（AIST）
AIST から
- 17:30-17:40 河原源太（基礎工）
「おわりに」
- 18:00- 総合討論 基礎工学研究科 G 棟 2F、G215 号室